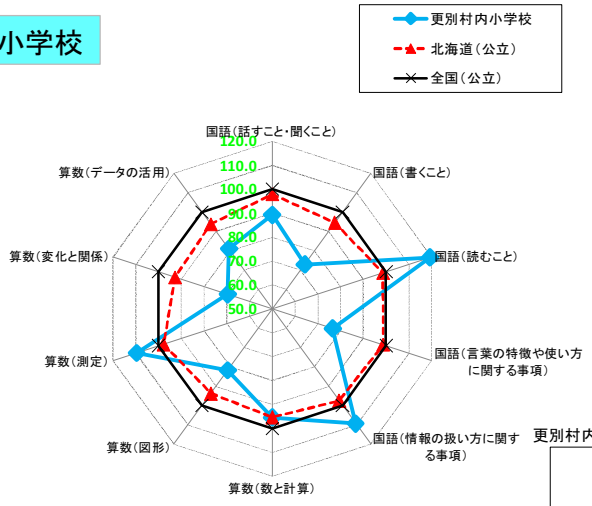
■更別村内の状況及び学力向上策　（小学校数：2校 、児童数：21人）　（中学校数：1校 、生徒数：22人）

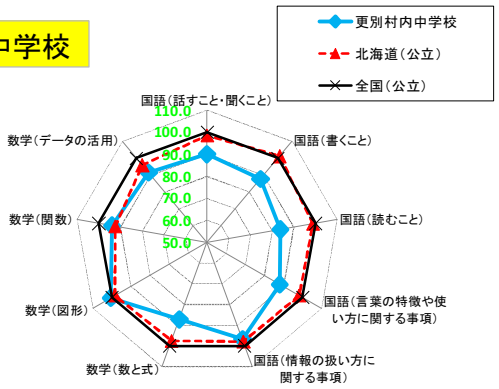
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

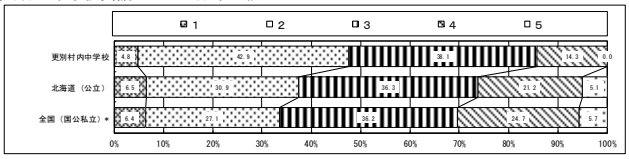
小学校



中学校

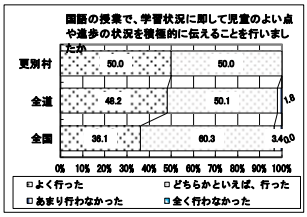


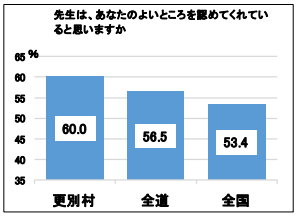
更別村内中学校英語IRTバンド分布比較

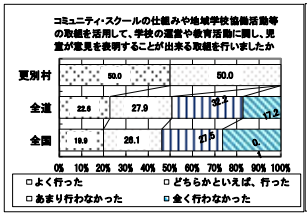


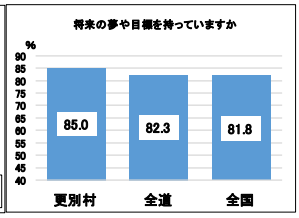
【質問調査の状況】

小学校

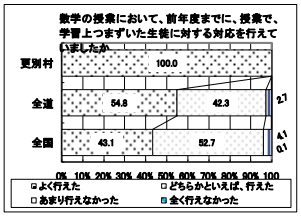


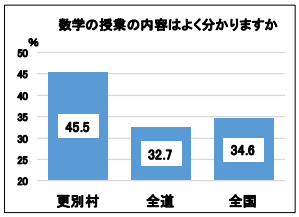


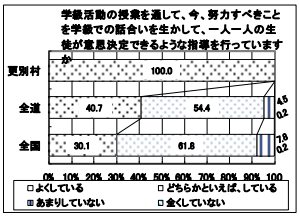


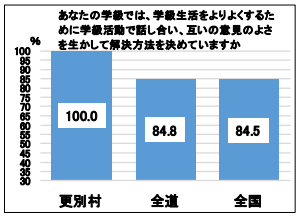


中学校









【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校	中学校
国語の授業で、学習状況に即して児童のよい点や進歩の状況を積極的に伝えることを行ってきたことにより、先生は、あなたのよいところを認めてくれていると積極的に回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったとともに、国語の１領域１事項で全国及び全道を上回ったと考えられる。	数学の授業において、授業で学習上つまずいた生徒に対する対応を行い、改善できるように、継続して丁寧に手立てを講じてきたことにより、数学の授業の内容がよくわかると積極的に回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったとともに、数学の１領域で全国及び全道を上回ったと考えられる。
コミュニティ・スクールの仕組みや地域学校協働活動等の取組を活用して、学校の運営や教育活動に関し、児童が意見を表明することが出来る取組や地域と連携した活動を積極的に行ってきたことにより、将来の夢や目標を持っていると肯定的に回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。	学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話合いを生かして、一人一人の生徒が意思決定できるような指導を行ってきたことにより、私の学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると肯定的に回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【更別村の学力向上策】

◎ 人的・物的支援の充実による個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実の推進
◎「学力・体力向上等サポート会議」による調査結果の分析及び授業改善に係る取組の推進
◎ 学習規律及び基本的な授業スタイルの統一等、９年間を見通した系統的指導の推進
◎ 学習意欲の向上と基礎学力の定着、検定合格後の達成感や自己肯定感の向上に向けた各種検定の全額助成
◎ 長期休業中における学習機会の提供（どんぐり塾の開催）
◎ 長期休業中における教職員の実践的指導力向上に向けた更別村・中札内村合同研修会の実施